



4月園だより

令和6年4月1日
目黒区立大岡山保育園

～入園・進級おめでとうございます～

3月19日に旧3, 4, 5歳児クラスの子どもたちが桜山公園(洗足池公園)へお別れ遠足に行きました。スタンプラリーを異年齢グループで行うという活動の遠足でした。帰る道中で3歳児クラスの子どもたちから質問を受けました。「どうしてお別れ遠足って行くの?」「どうしてりんご組さん(2歳児クラス)は行かなかったの?」と聞いてきます。その質問に「運動会や夏祭りやいろんな遊びをしてきたお兄さんお姉さんたちと最後のお楽しみをする散歩なんだよ。りんご組さんはまだ小さくてこの公園に行くのは難しいかもしれないね。」と答えると納得したように歩き続けていました。『なぜりんご組は一緒に行かなかったのか』という疑問の中に、大岡山保育園に様々なクラスがあることや、自分より小さいクラスが参加できないことへの思いやりも見え、一つひとつのことに心を止めることができる子どもたちに成長したんだと感慨深く感じた帰り道でした。

新しい子どもたちと職員を迎え、令和6年度がスタートしました。職員一同気持ちを新たに、保護者の皆様とともに、子育ての喜びや悩みを共有し一緒に歩み進めてまいりたいと思います。今年度もどうぞよろしくをお願いします。



今月の予定

入園説明会
入園進級お祝い会
全体保護者会
中 旬 身体測定 避難訓練

5月の予定

春の遠足(4・5歳児)
中 旬 春の健康診断(全園児)
中 旬 ポニー教室(5歳児)
中 旬 身体測定 避難訓練

クラス懇談会 5歳クラス懇談会
3歳クラス懇談会
4歳クラス懇談会
※懇談会の時間は、16:30~18:00です。

《子どものほっこりつぶやき(2歳児クラス)》

2階の大テラスで、2歳児クラスの子どもたちが遊んでいるとき、空を見上げて、
子ども：せんせい、みて！おつきさまがみえるよ。
保育士：あ、ホントだね、まだ明るいから薄く見えるね～。夜になったらもっときれいに見えるかな？
子ども：いまはあかるいからはずかしいのかな？なんかかぶってるの？
保育士：そうかもね。夜になったら、お顔を出してくれると思うよ。
子ども：じゃあ、おうちにかえるときにママとみってみるね。





一年間大切にしていきたいこと

～クラスより～



0歳児（いちご組）

見るもの、聞こえるもの、触れるものすべてが初めてのことを体験していく0歳児。新しい環境で安心して子どもたちが過ごしていけるように、保育士が子どもたちの表情や声、小さな仕草から思いを汲み取り、心を通わせながら信頼関係をつくっていきけるように関わっていきます。

保育士と一緒に遊ぶ中で、歌やふれあい遊びなどのスキンシップや、見たり聞いたり触ったり、やってみてほしいという子どもたちの興味を大切に、たくさん笑い喜びあいながら過ごしていきたいです。



1歳児クラス（もも組）

這い這いやつかまり立ち、そして歩行へと発達し、自分の世界が広がり好奇心も膨らみます。指差しや身振り、片言で自分の気持ちを伝えようとします。子どもの発見や思いに耳を傾け共感しながら楽しんでいきたいと思います。

また遊びや生活の場面でも”自分でやってみてほしい”という気持ちが芽生える年齢です。気持ちを受け止めたり、さりげなく手伝ったりしながら“自分でできた”という満足感を持てるよう関わっていきます。



2歳児クラス（りんご組）

自分は「あれがしたい」「まだこれがやりたい」という自己主張がますます強くなっていく2歳児。子どもたちがしっかりと自分のありのままの気持ちを言葉で伝えたり表出したりできるように、保育士が子どもの気持ちを受け止めながら、満足いくまで好きな遊びに夢中になって楽しめるように働き掛けていきたいと思います。

たくさん“楽しい！”を見つけて、少しずつ“先生と一緒にだから”“友だちと一緒にだから”保育園が楽しいと感じられる一年間にしていきたいと思えます。



3歳児クラス（さくらんぼ組）

「一緒にお出かけしよう」と気の合う友達を誘ってごっこ遊びが始まったり「これははしご消防車で今から助けに行くんだよ」と自分の遊びのイメージを保育士に伝えたり、ストーリーを作って遊ぶ姿が増えてきました。友達と一緒にだと楽しいということが少しずつわかってきています。しかし時には、トラブルになったり思い通りにならなかったりする場面もあると思います。その時には「どうしたかったの？」と子どもたちの気持ちと言葉を引き出す関わりをしながら、安心して自分の思いを出せるようにしていきたいと思えます。



4歳児クラス（れもん組）

氷鬼や鬼ごっこなどルールのある遊びに友達を誘って一緒に遊ぶ姿が増えてきました。友達と一緒にいる心地よさや楽しさがわかり、これから更に友達同士の関りが深まっています。思いを出し合う分、思いの違いからぶつかることも出てきています。葛藤する気持ちに寄り添い、相手の気持ちに気が付けるように、どうしたらいいか保育士も一緒に考え少しずつ歩み寄れるようにしていきます。

様々な行事への参加や、保育活動を経験する中でひとりひとりが自信をもって楽しんでいけるよう関わっていききたいと思えます。



5歳児クラス（ぶどう組）

「もうすぐぶどう組さんだから。」と期待を持って4月を迎えました。遊びや行事活動に取り組みの中で自分の思いを伝え、相手の思いに耳を傾けながらみんなで話し合うことや考え合う経験を大切にしていきます。また一人ひとりが自信を持ち、自分の力を発揮すると共に、難しいことに挑戦してやり遂げた達成感や、友達と一緒にだからこそ楽しいと感じられる喜びをたくさん味わえるようにしていきます。これから一年、友達とお互いの素敵なお互いの場所や頑張っている姿に気づき、認めあえる関係を作っていきたいと思えます。